

順位	氏名（議席）	発言の要旨
21	太田 康彦（31）	<p>1. 屋内体育施設における空調（冷房）設備の設置について</p> <p>このたびの環境省の公表資料によりますと、熱中症のリスクが特に高まった際に注意を促す熱中症警戒アラートは今年4月24日から10月23日の運用期間中、過去最多の延べ1722回発表されています。2023年度は1232回、今年9月の発表回数は昨年9月の約3.6倍となり、残暑の厳しさが増している状況が示されています。また、この期間中、静岡県では7月4日から9月21日までに44回の熱中症警戒アラートが発表されています。</p> <p>このような状況下から文部科学省では、このほど公立学校施設における空調（冷房）設備の設置状況調査を実施し、令和6年9月時点の状況を公表しました。全国の公立学校施設を対象として、普通教室、特別教室等及び体育館等の空調（冷房）設備の設置状況を調査しています。</p> <p>その結果は、公立小中学校等の空調（冷房）設備設置率は、普通教室で99.1%、特別教室で68.7%、体育館等で22.1%と示されています。この公表において、静岡県内では小学校体育館等で6市町が設置率100%、また中学校体育館等で3市町が100%、2市町が50%、そして2市町が30%以上の設置率となっています。</p> <p>これらの調査から、学校並びに公共の体育施設等の空調（冷房）設備の整備について、以下伺ってまいります。</p> <p>(1) 市立小中学校の屋内体育施設等の空調（冷房）設備について。</p> <p>① 市内各学校における空調（冷房）設備についての現状を伺います。</p> <p>② 中学校では重層式体育館が整備されてきましたが、体育室、武道場のそれぞれにおける熱中症対策はどのように行われていますか。</p> <p>③ 岳陽中学校においては、体育館は既存のものを維持し、新たに武道場の建設が本年度着手されています。この武道場について空調（冷房）設備の検討はされていますか。</p> <p>④ 岳陽中学校に続き、吉原第一中学校においても既存の体育館の存続、新たに武道場の建設が予定されていますが、空調（冷房）設備設置の計画についてどのような考えか伺います。</p> <p>(2) 来年4月に供用開始となる総合体育館及び既存施設である富士体育館、富士川体育館の空調（冷房）設備について。</p> <p>① 総合体育館にはメインアリーナ、サブアリーナの2室がありますが、それぞれの空調（冷房）設備の概要について伺います。</p> <p>② 総合体育館には武道場が併設されていません。したがって、この機能を既存の体育施設に求めることとなります。富士市スポーツ協会は、令和5年9月29日に「富士体育館における武道館への名称変更等に関する要望書」を提出しています。この中では表題の名称変更につき、2項目めに「エアコンの設置を切望します。」と記しています。</p> <p>このエアコン設置要望に対して、どのような検討がなされ、今後いかに進めていくのか伺います。</p> <p>③ 富士体育館には附属施設として富士柔剣道場、卓球場が併設されています。これらの施設についての空調（冷房）設備の状況を伺います。</p> <p>④ 富士体育館と同様に富士川体育館においても体育室の空調（冷房）設備は設けられていません。富士川体育館についてどのように考えているのか伺います。</p>

順位	氏名（議席）	発言の要旨
22	福永 意人（1）	<p>1. 投票環境の向上と主権者教育の在り方について</p> <p>本年、5月26日に第21回静岡県知事選挙、10月27日に第50回衆議院議員総選挙が執行された。全国的に注目度が高い選挙が実施されたこともあり、有権者が政治に関心を持つとともに、一票の重みを実感できる機会が多かった一年だと考える。近年の投票行動の特徴としては、期日前投票所の利用者が増加していることが挙げられる。</p> <p>本市においては、平成28年から現在に至るまで富士市役所とイオンタウン富士南の2か所で期日前投票所が開設されているが、投票環境の向上の観点から増設が待たれるところである。また、有権者が投票先を決める際にSNSや動画サイトを参考にすることも特徴の一つであり、意思決定の在り方が多様化・複雑化しているため、主権者教育の在り方が問われている。</p> <p>そこで、以下5点を質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市における投票率等の傾向はいかがか。 (2) 期日前投票所の増設について、過去の答弁では令和6年度中に場所等を決定したいとの意向が示されていたが、進捗状況はいかがか。 (3) 期日前投票所の増設について、恒常的に人流が見込まれる場所が選定条件の一つになると思われるが、令和10年度中に完成予定の富士駅北口駅前公益施設を将来的な候補地としてはいかがか。 (4) 投票率向上のためにも年代別投票率を開示してはいかがか。 (5) 本市の主権者教育はどのようなことに重点を置いて実施しているか。

順位	氏名（議席）	発言の要旨
23	藤田 哲哉（19）	<p>1. 認知症早期受診の推進について</p> <p>富士市では、認知症ケアパスとして、認知症の人と家族のみちしるべを発行しており、認知症は早期診断、早期対応が非常に大切であると示しています。</p> <p>そこで、以下質問いたします。</p> <p>(1) 高齢化及び独り暮らしが年々増加する中、なかなか相談をきっかけとして受診につなげていくことが難しくなってくると思われませんが、かかりつけ医をきっかけとした仕組みについて伺います。</p> <p>(2) 認知症サポート医の役割について伺います。</p> <p>(3) 認知症コールセンターの役割と市との連携について伺います。</p> <p>(4) かかりつけ医と連携し、認知症に関する問診票として脳の健康度チェック票などを利用した早期発見、早期対応の推進について伺います。</p>

順位	氏名（議席）	発言の要旨
24	石川 浩司（4）	<p>1. 富士市のスポーツ観光を含む観光行政について</p> <p>本市の観光行政は、平成27年度から令和6年度までの10年間を計画期間として平成27年3月に策定した富士市観光基本計画に基づき、令和2年度の後期改訂と見直しを経て、富士市特有の素材を生かした観光施策を展開してきました。</p> <p>現在は、令和7年度から始まる第2次観光基本計画策定のために策定会議を開催しています。第2次観光基本計画は今後10年間のかじ取りとなる重要な計画になるため、本市の観光を大いに飛躍させるためにも、観光行政を多角的に検討する必要があると考え、以下質問します。</p> <p>(1) 第1次観光基本計画での成功例や課題を踏まえ、時代の変化等から第2次観光基本計画で大きく変更となるビジョンはあるのか。</p> <p>(2) 第2次観光基本計画策定に当たり、市民の声をどのように反映していくのか。</p> <p>(3) 第2次観光基本計画策定のために策定会議を開催しているが、この会議の構成メンバーはどうなっているか。また、会議で話し合った内容についてはどのように捉え、反映していくのか。</p> <p>(4) スポーツ交流事業に関する新たな取組はあるのか。</p> <p>(5) 自転車による地域活性化を目指し、これからのサイクルスポーツを含めどのような方針で行くのか。</p> <p>2. 荒廃農地解消のための今後の取組について</p> <p>現在、我が国では人口減少が加速する中で、同時に高齢化も進んでいます。本市でも高齢化の構図は同じように進んでいます。農業を中心とした第一次産業は担い手不足が進み、特に田畑の荒廃が地区によっては加速的に広がっています。</p> <p>市街化調整区域を含め、それらの土地を今後どのように活用し、また、後継者や利用者をどのように確保するのか、以下質問します。</p> <p>(1) 今年度中に地域計画を策定することが義務づけられたが、どのようなスケジュールで策定するのか。</p> <p>(2) 荒廃農地が市内にどの程度存在しているか把握しているのか。</p> <p>(3) 荒廃農地への対応として、農地中間管理事業の活用が考えられるが、富士市としてこれまでに活用した実績はあるのか。</p> <p>(4) 荒廃農地をこれ以上増やさないため、新たに農業を始めたいと思う方への支援は考えているのか。</p>

順位	氏名（議席）	発言の要旨
25	市川 真未（3）	<p>1. ユニバーサル就労から考える雇用創出について</p> <p>本市には全国に先駆けたユニバーサル就労支援のすばらしい取組がある。ユニバーサル就労支援の対象にはシルバー人材も含まれるのではないか。業務の切り出しが、人材不足という社会課題解決の一翼を担うと考え、以下質問する。</p> <p>(1) シルバー人材センターの就業を促進するための活動は、働き手や受入先のニーズに対し十分だとお考えか。</p> <p>(2) シルバー人材センターとユニバーサル就労支援センターの連携体制はいかがか。</p> <p>(3) 人材不足という社会課題に対し、本市は十分な取組を行うことができているとお考えか。</p> <p>2. 稼げる公共施設を目指して</p> <p>少子高齢化する社会の中で、行政も長期的な視点を持った経営手腕が試される。昨今、建設費用が高騰している中でも、まだ造ることが目的になっていないか。持続可能な社会を目指し、今後建設予定の新病院と富士駅北口駅前公益施設について、以下質問する。</p> <p>(1) 今後建設予定の新病院と富士駅北口駅前公益施設は、何年使用できる見通しか。</p> <p>(2) 新病院建設の予算は、病院の収入で賄える範囲で考えているか。</p> <p>(3) 富士駅北口再整備事業を行った場合と、取りやめた場合を比較したことはあるか。</p> <p>(4) 富士駅北口駅前公益施設の建設費用高騰も予想されるが、その施設は稼ぐことができる施設なのか。</p>